

令和7年度（2025）旭地区わくわく事業活動団体・事業

団体名	代表者名	事業名	事業の概要	新規/継続
旭中サンライズプロジェクト	近藤 宣広	旭中サンライズプロジェクト事業	- 旭地区の特産品ハラペーニョを活用したメニュー開発、イベント企画の協力を地元の方にも協力していただき、地域ぐるみの活動となる。 - 市街地へのイベント出展で、旭の魅力を宣伝し、旭への集客を図る。 - 協力団体の方からアドバイスをいただき、効果的な情報発信を行う。 - 生徒が世代を超えた地域の人たちと交流することで、先人の知恵を学ぶことができ、人として成長できる。	継続
浅谷蕎麦倶楽部	稲垣信之	農地再生！赤そばの里事業	- 農地の草刈りや試食会を行うため地域の有志の参加を募り、地域の連携を強化する。 - あさひマルシェに出店し、地域活性の一助とする。 - 赤そばの新芽やそばの実を鹿が食い荒らすため、鹿よけネットを設置し、より多くの収穫を促進する。	継続
あそびまNAVI	柳澤二郎	地域の特徴を活かした魅力ある子育て環境・コミュニティづくり	- 月1回開催する体験学習により、旭の自然に親しみ愛着を育む。 - 関わった子ども達の記念手形を制作し、旭地区へふたたび訪れたいという取組を行う。	継続
しきしまの家	後藤哲義	しきしまの家活動推進事業	令和4年度から、寄付金などを財源に整備され、元気プロジェクト登録者750人をはじめ高齢者を中心とした年間利用者数10,000人が見込まれる。住民、関係人口の参加による「しきしまの家バリアフリー大作戦」「坂道ギャラリー」の開催により来訪者の安全と快適性が増し、拠点利用促進、活動の推進が見込まれる。	新規
あさひ根っ子の会	松嶋利光	林育推進事業	こども園、小、中学校の地域学習を支援し、更に林育に興味ある子ども対象により深く関わることで活動の場を用意する。林育推進に向けてのポスターの標語と絵を、旭木の駅プロジェクトで使用するモリ券（地域通貨券）のデザイン画やポスターを募集する。あさひまつりや地域の公共的な施設などに展示する。	継続
惣田花樹の会	三宅貞夫	地域性を活かした景観向上事業	継続事業として全体の約80%の達成率である。さらに90%を目標に計画を進める。	継続
笹戸観光振興会	安藤国夫	笹戸地区観光イベント支援事業	笹戸会館等笹戸地区内の環境整備、笹戸地区観光イベントへの開催支援を通じて来訪者の満足度向上、地域活性化を図る。	継続
旭地区自主防災会連絡会	安藤国博	防災アクション(安全で安心な地域づくり推進)プロジェクト事業	- 地域の雨量情報の提供及び災害危険個所の把握し、地域全体の防災行動を検討する。 - 地域の雨量情報を受ける住民が適切なタイミングで避難行動するための有効な避難対策であり、「どのような」情報等をもとに「いつ」避難するかの迅速な判断ができる。 - 気象庁など防災機関のデータとリンクし、身近な地域の雨量情報や川の水位、監視カメラの映像、氾濫や土砂災害の危険性などの情報が容易に確認できる。	継続

歴史と自然豊かな 押井づくりの会	鈴木啓佑	持続可能な農村モデルづくり事業	1.交流拠点づくり事業（ビオトープづくり） ※令和7年度で完了予定 内容：ワークショップ形式の手作業による造園や土木作業を通じて、地域の歴史資源である普賢院を交流拠点として整備します。これにより、地域住民と関係人口の交流を促進します。 2.里山整備事業（里山公園づくり計画策定） 内容：森林を持続可能な形で利活用できるよう、調査と計画を設計します。設計活動はオンラインワークショップ形式で行い、多くの関係人口を巻き込むことで、計画の実現可能性を高めます。	継続
あさひ対話の杜	熊本ゆう子	対話を通して山間地域での学びをもっと豊かにする事業	対話できる基盤づくり 地域住民、保護者、教育関係者を巻き込み、現状の課題を共有し、対話の場を通じて地域の教育資源を活かす方向性を探る。 ◎ホームスクーラーのつどいの開催 ◎小中学校への調査を実施 ◎対話の会の定期開催	新規